



しがしまつやま
キッズ集合!

おしえて『文化財』

埼玉県指定文化財 吉ヶ谷遺跡竪穴住居跡出土品

大昔の人々が使った容器である土器は、作られた時代や場所によって異なっていて、形や文様に独自の特徴があります。「このような形や文様で作らなければならない」という地域での約束事があったのです。

考古学者は出土した土器を観察し、同じような形や文様を持つ土器をグループ分けしてきました。こうしてグループ分けされた土器のまとまりを型式といいます。型式には、それらの土器が初めに発見された遺跡の名前が付けられ「〇〇式土器」と呼ばれるようになります。名前の元となった遺跡は標式遺跡といいます。

吉ヶ谷式土器は、吉ヶ谷遺跡(大谷)を標式遺跡とします。弥生時代後期の土器で、比企を中心とした埼玉県の北西部の地域で使われていました。目の粗い縄文の文様を付け(施文)、土器を作る時の粘土の継ぎ目(輪積痕)を残しているのが特徴です。煮炊き用の甕、穀物を保存するための壺、盛り付け用の高坏、取り分け用の鉢などの器の種類(器種)があります。



吉ヶ谷遺跡竪穴住居跡出土品
昭和38年の発掘調査で出土。吉ヶ谷式土器の研究の発端となった標式資料として重要です。



縄文文様と輪積痕
(土器は観音寺遺跡第3次調査で出土したもの)

埋蔵文化財センター
27-1033333 FAX 27-103334

梶田先生と振り返る思い出の一コマ

Vol.42

2016(平成28)年4月、サメの歯の化石をはじめ、多種多様な化石が発見されている坂東山(旧葛袋)に化石と自然の体験館がオープンしました。約1,100万年前に絶滅したと考えられている哺乳動物パレオパラドキシアをはじめ、サメの歯などの化石が見つかっていて、気軽に発掘体験をすることができます。また、駅舎をイメージした館内の展示スペースにはカルカロドンメガロドンの顎を復元した実物大パネルやパレオパラドキシアの10分の1の復元模型などを展示しています。

1,500万年前、坂東山(旧葛袋)地区は海だったんだよ。



2024(令和6)年8月、発掘体験者数が9万人を超えたんだよ。



キャラクター紹介

市内の小・中学生に配布された学習漫画「漫画でわかる梶田隆章先生とニュートリノ」のキャラクターたちです。

ニュートリノ三兄弟



電ちゃん ミューやん タウっち

梨花(姉)



歩(弟)



梶田隆章先生



東松山市生まれ。東京大学宇宙線研究所教授。1998年にニュートリノ振動の発見を発表。2015年にノーベル物理学賞を受賞。

化石と自然の体験館 オープン 2016(平成28)年



川を学び、水害を知り、防災の知識を高めた社会科見学 高坂小学校

川を学び、水害を知り、防災の知識を高めた社会科見学 高坂小学校



7月5日(金)、高坂小学校の4年生が社会科見学で寄居町にある埼玉県立川の博物館を訪れました。川を学び、水害やその防ぎ方などの防災の知識を高める目的です。

児童は、川を図や屋外に設置してある大模型で学んだり、治水の仕組みを動画で知ったりしていました。

児童からは「県内の川について勉強することができた」「水害を防ぐ大事さが分かった」などの感想がありました。



WITH FLOWERS ~暮らしに花を~

市民ボランティア「フラワーサポーター」の活躍
市内の公共花壇は、フラワーサポーターの皆さんと一緒に整備をしています。フラワーサポーターは平成25年からこれまで143回の活動を行っており、現在105人の幅広い世代が活躍中です!活動は植え込みのほか、花のアレンジメントや知識を深めるための「スキルアップ講座」、花を学びサポーター同士の交流を深めるための「視察研修」を開催しています。各活動での発見やつながり、また花壇がきれいになることによる達成感があります!スキマ時間に、誰かと話したいときに、お気軽にご参加いただけます!初心者の方、ガーデニングが好きな方、大歓迎です。
また、令和5年からは「事業者フラワーサポーター」も活躍中です!ぜひ、お申込み・お問い合わせください!



市HP



フラワーサポーターとして活躍する中野ヒロ子さん

私にとって、予定を最優先に入れるくらい生きがいの1つとなっています。老若男女問わず、花を見ているときは皆さんとても素敵な笑顔になっていますね。その花に関われていることを幸せに思います。これからも健康維持に努めながら、この社会とのつながりを大切にしたいです。



問 地域支援課 花いっぱい推進室 ☎21-1435 ☎22-7799



市HP